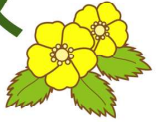


草のよしだやかわら版

2018年 春号 VOL22



冬の間じっと休眠していた植物たちが動き始めました。今まで何にもないように見えた地面から、「お待たせしました」と出てきた新芽の可愛らしさと、これからの季節に期待が膨らみ、わくわくしますね。この時期にひと手間をかける事で、植物も健康に美しく育ちます。寒さからまだ体が慣れない季節なので、無理せず一緒に楽しみましょう。

吉田 龍

ガーデニング専門学校
の講師をしています！



✿春のお手入れのお話:

剪定は見た目を美しくするだけでなく、養分を効率よく利用させ生長を促進したり、風通しを良くして、これからの季節に心配な病害虫の繁殖を予防する効果があります。適期に行なってくださいね。

剪定：ウメ

早春に香り高い花を楽しませてくれたウメ、ロウバイ等は花後剪定の時期です。夏には来年の花芽が出来ますので、花が終わった今が適期です。不要枝を整理し、切戻し、透かし剪定などで樹形を整えることで、開花時の花のバランスも良くなります。

剪定：コニファー

コニファーは放っておいてしまうと内側の葉が枯れてしまい、樹形を元に戻すのが難しくなります。コニファーもこの時期が適期です。コニファーの枝を切る場合は、深い刈り込みはせずに、必ず葉のある部分を少し残してくださいね。

✿和ハーブコラム（和ハーブインストラクター 吉田珠子）

垣根も通す生命力『カキドオシ（垣通し）』のお話。

公園や道端、あちこちで見られるカキドオシ。子供のカンの虫を取る言われカントリソウの別名もあります。香りの良さからポプリ等芳香素材やお茶としても利用すること出来ます。どこかで見かけたら、葉を軽く揉んで香りを楽しんでみてください。花もかわいいですよ。

